県教育委員会指定

生徒指導推進地区 第二年次活動の方針とその計画

児童生徒の健全育成をめざす推進地区の活動も二年次を迎えました。昨年度以上に学校の主体性を発揮して指導にあたる一方、各小・中学校のP・T・Aの皆さんや、各校区の青少年対策推進委員会の組織をあげての取組みと力を合わせ、強力な活動を展開したいと考えております。

本年度の重点推進事項

▼一頁に紹介しましたように、〝あいさつ運動〟の展開であります。

「あいさつや握手は心のふれあいの序論である。」ともいわれます。学校でも家庭でも、そして、各地域（町内・部落）でも明るいあいさつのできるよう、環境をととのえ、実行させたいと考えております。

▼現在、どの地域でも、関係団体と共催して懇談会が開かれていると思います。

一人でも二人でも多くの方々の参加をお願いしております。話しを聞いたり、意見を交換したりするなかで、子ども達の問題に対して認識をいっそう深めていただいたり、又実行に移していくものもあるでしょう。小グループで回を重ね、キメ細かな懇談会を実施してまいります。

▼そのほか、昨年に引続き、市内中学校生徒会役員交流会を行います。

また、危険個所、街頭などの巡回指導。講演会を開いたり、教師の研修会など実施して非行防止、健全育成を図っていきます。

みなさんのご協力をお願いいたします。

第二回 市内中学校 生徒会役員交流会

今年の生徒会交流会は八月二十八日・二十九日の両日、巻町越前浜の県立青少年研修センターで行われます。市内の各中学校生徒会役員五～六名合計三十七名が参加します。

内容は生徒の自主的な活動を伸ばすために、生徒会活動の情報交換や、生徒会活動の問題解決のための討議をします。また、今後の活動に役立つよう、リーダーとしての力をつけるための演習をします。今年は二回目ですので昨年の経験を土台にして、実り多い会にすべく準備中です。

全地域（町内・部落）で懇談会を

＊話し合いの輪を広げましょう＊

重点推進事項に述べてありますように、地域（町内・部落）懇談会がすすめられています。あなたの地域ではどんな問題が話し合われたでしょうか。子ども達の現状や、その対策などの理解がなされたことと思います。さらに回を重ねましょう。

まだこれからという地域もおありでしょうが、有意義な話し合いで、この会が成功されることを期待しております。

さあ，夏休みだ!!

こんなことに愛の目と手を

活生 近頃、こども達の小さな生活のくずれが、大きな非行につながるといわれております。休みだからといって、朝寝ぼうする、洗顔、歯みがきをしないなど、基本的な生活のリズムを、くずさないようにさせてください。

そして、こどもの発達段階にあわせて、自主的な生活設計を立てさせ、積極的に自分を育てる機会にさせてください。生活設計の中には、勉強だけではありません。家の仕事の分担、テレビをみる時間の規制、自分の体力づくりの方法、友達との遊びのことなども入ります。

故止事防 ▼水難事故防止 夏は水の季節でもあります。危険な川、池、沼での魚つり、水遊びは、絶対にさせないことです。

プール（学校・市営）での水泳は、健康に注意させ、きまりを守って、進んで泳ぐようにさせてください。こども同志で海水浴に行くことは禁止です。

▼交通事故防止 本人、家族、加害者みんな悲惨です。危い!!バイクのり、自転車の二人のり、小路からのとび出し、道路上での遊びなど、注意させてください。

▼非行防止 万引や家出などが考えられます。

毎日の生活の中で、悪いことは悪いときちんと教え、用もないのにデパート、スーパーなどに行かせないようにさせてください。また、友達とのつき合いにも目を向けてください。

わたしたちの夏休み

意志に挑戦

新津三中 三年 帆苅 春美

中学生最後の夏休みだからあれこれ手がけたいが、まず勉強であろう。

三年生ともなれば、補習授業・家庭学習・テスト勉強などといろいろある。それらに工夫をこらして夏休みの間に今まで習った何分の一かをやりとげたいと思う。そうすれば秋からの勉強にも余裕ができてくるだろう。

一・二年生の時は結局できなかったことがあったが、今年は絶対にやりとげたい。

二番目は自分の健康管理だ。わたしは休みになるといつも自分の健康なんてそっちのけで食い気を楽しむばかり。健康管理は自分しかできない。

夏バテ、お腹が痛いなどと言っていたら、最初にあげた勉強の計画はかならずだめになってしまう。そこで私は暴飲暴食はしないということを守りたい。それをコントロールできるのは自分の意志だけだと思う。

長くて短い三年生の休み。みずからに挑戦したい。途中までだったものを最後まで今年こそやりとげたい。

ぼくの夏休み

新津二小 三年 五十嵐 俊樹

ぼくは、夏休みに佐渡へ行くよていになっています。ほかに、二つの大きなめあてを立てました。

第一のめあては、夏休みの日記をさい後まで、書くことです。

第二のめあては、75メートルの水泳きろくをもつとのばすことです。せめて百メートルにのばしたいです。

だけども夏休みで一番やりたいことは、できるだけ学校のプールへ行くことです。きょ年は一回しか行っていなかったからです。

そのほかに、クロールをおぼえようと思います。きょ年の75メートルは、平およぎでおよいだのです。クロールでおよぐときに、体のバランスをくずさないで呼吸をすることも、おぼえようと思います。きょ年は、自分でもそのことはわかっていたのですが、なかなかできませんでした。

しかし、今年は二年生です。できるようになるまでがんばろうと思います。そして、水泳大会には、五いまでのどれかに入りたいです。

先輩からの便り

中学二年の弟へ

高校三年生 帆苅 智之

夏休み中の生活はまず勉強です。一学期の復習をすると共にこれからの勉強をざっと予習してみる事が大切です。宿題も沢山出るけれども、休みの終わる頃になってあわててやらないように、八月十日を目標に一日一日しっかりやりましょう。

つぎにクラブ活動ですが三年生はしなくなりますので、夏休みからは二年生が主になって練習するわけです。なによりも一年生をひっぱって活動することです。夏は暑いでしょうけどだらけずがんばりなさい。

それから生活ですが、長い休みになると生活が不規則になりがちです。夜ふかししたり、暴飲暴食をしたりなどなどついしてしまいがちですが、十二分に気をつけたらよい。

以上の三つをしっかり守って楽しい夏休みを送りましょう。

と、いかにもそれらしいことを書きましたが、自分が中学生の頃の夏休みをそういうふうにきちんと送れたかというとそうでもありませんでした。

夜は遅くまでテレビやラジオを見たり聞いたりしていて、朝はなかなかおきれなかった。そのためについクラブ活動をサボったりしたこともありました。勉強も休みの初めにしようとちかったものの、やっと八月三十日にどっとしたこともあったみたいです。

失敗の例をかきましたが、やはり何事もそうですが、『明日がある。』などと思わないで、しっかり計画を立て、楽しくすごしなさい。

小学生の妹よ おてつだいを

高校三年生 西塔 昌子

いつもは学校のことにおわれているあなたには家庭におけるあなたのあり方を知るのに良い時です。だから、お家の手伝いをしっかりやろうね。お母さんにばかり頼っていないで、進んで自分のやれる仕事を見つけて実行しましょう。どんな小さなことでも欠かさずに実行することが大切です。それはあなたにやりとげたという満足感と自信をあたえてくれるはずです。

それから、毎日プールへ行ったりランニングをして体をきたえることも忘れないで。